

浄土真宗本願寺派 西光寺報

「平成30年福井豪雪」

慈光照護のもと、門信徒のみなさまには
愈々ご清祥にてお念仏ご相続のこと慶賀に
存じ上げます。

みなさま大雪の被害はありませんでした
でしょうか。本当にひどい雪でした。私は
三八豪雪のときは赤
ちゃんだった
たので覚えて
いません
し、五六豪
雪のときは
大学生で福
井におりま
せんでした。
ですから、
朝起きるた
びに不気味に増えていく積雪を眺め、途方に
暮れながらもなんとか玄関から山門までの
道を確認し、あとは山門や玄関や下屋が崩れ



境内に突如現れたヒマラヤ山脈

落ちないかを念じながら、雪で
デイサービスに行けない母と
二人でじつとしていました。
お寺のブログでもすでにご報
告していますが、ご門徒さまの
お寺をお預かりしてお守りする立場の住職
ですが、屋根の雪下ろしは経験がなく、下屋
のところまで
脚立やはしご
を持っていく
こともできず、
結局庫裏の下
屋が崩れ、本
堂の裏の屋根
瓦も何枚か割
れて落ちてし
まいました。
本当に申し訳
ありません。
そろそろ落ち
着きましたの
で、見積もり
を取って修理
の段取りをし
たいと思っ
ております。
地球温暖化
になると雪が



下屋が崩れてしまいました



本堂の裏の屋根瓦が落ちました

彼岸会にお参りください。

3月23日(金) 昼2時より

降らないものと思っておりましたが、どうも違
うようですね。暖かくなると海水の蒸発が
増えて降水量が増すというのです。なんと
いうことでしょうか。それに今年はアメリ
カやヨーロッパでも大寒波が来て、たくさん
の方が被害に遭っています。地球の生き物
の40億年の歴史の中では、全球凍結や隕石の
衝突などで全生物の9割以上が死に絶えた
ということも何度も起きていますし、ここ最
近の一万年くらいが、地球の歴史では奇跡的
に天候が安定している時期らしいです。だ
から人類がこんなに爆発的に増えてしまっ
たのでしょうか。地球に暮らす74億人の人
類全員が今の日本人のような暮らしをした
ならば、海水の汚染で地球は滅びるといわれ
ます。洗濯機やトイレなどの下水や工場廃
水、自動車や工業や発電などで環境を汚染
し、私たちはその便利さをあたりまえのもの
として享受していますが、それは地球人全員
は、することができない暮らしなのです。諸
行無常ということに改めて知らされます。
私のいのちはもちろん、家も、大地も、海も、
地球そのもの、宇宙まで無常なのです。

無常でないものは『常住』といわれますが、そんなものはこの娑婆世界のどこにもなく、私たちのほからいを超えた、仏さまの世界にしかありません。そういう世界こそ『浄土』なのでしよう。阿弥陀如来のお慈悲に包まれ、南無阿弥陀仏をいただく私たちは、どんなことがあっても変わることはない浄土に生まれ、仏となるべき身として生きさせていただくのです。

そんなことを考えますと、普段の生活の中での争いはもちろん、国どうしの争いなどもやっている場合ではありません。全世界が協力して少しでも長く生物の住める地球環境を守っていかねければならないと思えます。徒然なるままに書いていたら、大雪から壮大な話になってしまいました。でも、子や孫の世代が安心して暮らせる世の中にしなくてははいけませんね。

「彼岸会にお参りください」

日	10時〜	14時〜	19時〜
23日 (金)	速夜 正信偈行譜 法話二席		

ご法話

越前市 徳泉寺住職

本願寺派布教使

藤下晃巖 師です。

春の彼岸会もついに十年目となりました。ご講師には、一昨年も来ていただいた、越前市の藤下晃巖先生にお願いました。もうよくご存知の方も多いでしょうが、私が一年だけ北陸高校に勤めていたときの同僚で、若いお友達です。春からは本願寺の勤式指導所でさらに学びを深められるという、福井の浄土真宗のこれからを担う勉強熱心な若手布教使です。みなさんぜひお誘い合わせお参りください。

「墓じまいの報道に思う」

最近母と一緒にテレビを見ることも多いのですが、墓じまいをはじめ、さまざまに奇抜な埋葬方法が登場し、世間をにぎわしています。以前にもどこかに書いた気もしますが、こういう話題が出ると必ずお話しするのですが、若狭地方には『お墓のない集落』が存在します。その集落（にある家庭）にはお墓がないのです。じゃあお骨はどうするかというと、お寺の納骨堂と本山（大谷本廟）の二ヶ所に納めるのだそうです。

もともと浄土真宗にはお墓に関するきまりはありません。「お墓を建てるときはこうしましょう」といった、アドバイスのようなものがあるだけです。もちろん『亡くなったからお墓を建てなければならぬ』こともありませんし『亡くなった方がいるところ』でも

ありません。お墓を建てるという方には「正面には『〇〇家之墓』などではなく、『南無阿弥陀仏』と掘ってもらってください」とお願ひしています。お墓は亡くなった方を偲び、私が阿弥陀如来のはたらきに遇わさせていただく場所なのです。お寺も、納骨堂も、お墓も、ご家庭のお仏壇も同じです。

現代は子や孫の世代が同じ土地に暮らすという時代ではありません。墓じまいをして、お骨はすべてお寺の納骨堂に納めるという方法もあると思います。テレビに出てくるような納骨堂もいずれ故障し、建物も老朽化し、経営母体も変わるかもしれません。お寺だつてそうですけど。この世は無常だと思つて考える必要があるような気がします。

「メール配信もできますー！」

今回の寺報のように、他の資料が同封されない『寺報のみ』の場合は、メール配信で少しでも支出を抑えることができます。メールでもいいよというみなさまは、その旨メールでお知らせくださいませ。次回からメール配信させていただきます。

では、彼岸会でお会いいたしましょう！

住職携帯 090-8967-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時！